

福祉タクシー需要の聞き取り状況

タクシー事業者2社

《A社》

- ・午前7時～24時は対応している。
- ・午前8時～午前10時の時間帯は利用が集中するため不足が生じている。
→時間をずらして対応する場合や他の業者とやり取りして調整する場合もある。
- ・急患については、できる限り対応している。

《B社》

- ・午前7時～24時は対応している。
- ・福祉タクシー（ストレッチャータイプ）1台のみで、ほぼ予約での利用で不足の状況はない。
- ・急患は対応しない。
- ・福祉タクシーの必要性はあるが、事業としてこれ以上、台数を確保することは難しい。

福祉タクシー事業者5社

《C社》

- ・予約等で一杯の状況であり、これ以上の対応は難しい。

《D社》

- ・予約での運航がほとんどで、空いていれば予約なしでも対応するが、午前中は稼働が多く2台しかないので、他の事業者とのやりとりや時間をずらしてもらうこともあるが、対応できない場合は断ることもある。
- ・夜間も都合がつけば対応する。

《E社》

- ・平日の午前中の稼働が多く、1台なので予約が重なる場合はお断りしている。
- ・稼働のない日もあるが、毎木曜日は固定客の予約がある。
- ・利用者は主に両津地域。

《F社》

- ・平日の午前中の稼働が多く、1台なので予約が重なる場合はお断りしている。
- ・利用者は主に両津地域。

《G社》

- ・平日の午前中の稼働が多く、予約が重なる場合は利用者が入居者中心なので調整してもらっている。
- ・利用者は主に入居者。一般では南部、赤泊、小木の方もいる。

【まとめ】

- ストレッチャー車両については利用が少なく不足していない。
- 上記以外の福祉タクシーについては、平日の午前中に不足する状況である。
- 福祉タクシー事業者については所有台数が少ないため、予約以外の対応に不足する場合がある。

○平日の午後や、日によっては予約以外の対応ができる場合もあるが、総体として佐渡市においては福祉輸送が足りない状況である。